

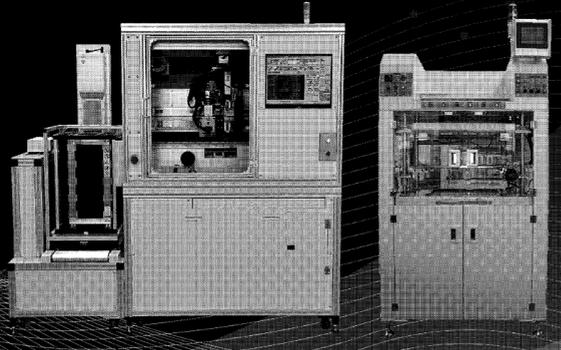
モノづくりの困りごと解消に

人手不足解消に
作業の自動化

官能検査の品質バラツキ解消に
検査の自動化

処理能力の不満解消に
効率化機器による自動化

詳しくは
コチラ▶



株式会社 **ニューリー・土山**

本社 〒528-0211 滋賀県甲賀市土山町北土山979
TEL: 0748-66-1681 FAX: 0748-66-0915

ニューリー・土山社長

野口 雅人氏

基板検査リピート注文増



「電子部品実装基板の検査、既存顧客から治具のリピート注文が増えています。ピート注文が増えている。競合の中小企業が事業継続せず、2025年9月期の業績は非常に良かった。車載やスマートフォン向けは例年通り」

社員教育を拡充

「社員教育を充実させていく。階層別研修に加え、組織の体力を底上げするため、経理やビジネススマイルといったポータルスキルの向上にも注力している。社員教育の充実には、当社が継続するための一つの手段だと考えている」

NKE社長

中村 道一氏

電池の薄物搬送に期待



「自動車業界をはじめ、多量な電気自動車(EV)向け電池搬送設備の展開が期待されています。2026年の見通しは、政策など25年は年初から事業環境が良くなかったものの、25年11月ごろから受注が戻ってきた。自動車業界は様子見や先送りの状況から抜け出し、止まっていたエンジン車関連も急ブレーキがなかった」

低露点での部材テスト開始

「期待は次世代電池向け薄物搬送。低露点環境の再現設備を本社(京都市伏見区)に整備し、自動化機器の部材テストを始めた。一方、懸念は日中関係。11月ごろから磁石を使った単純な部品が調達しづらくなった。今年の干支は丙午。こういう時こそ基本に立ち戻り、本質を貫き、人のための自動化機器というものを真剣に考え、価値を提供していきたい」

山科精器社長

大日 陽一郎氏

工作機械の製品拡充



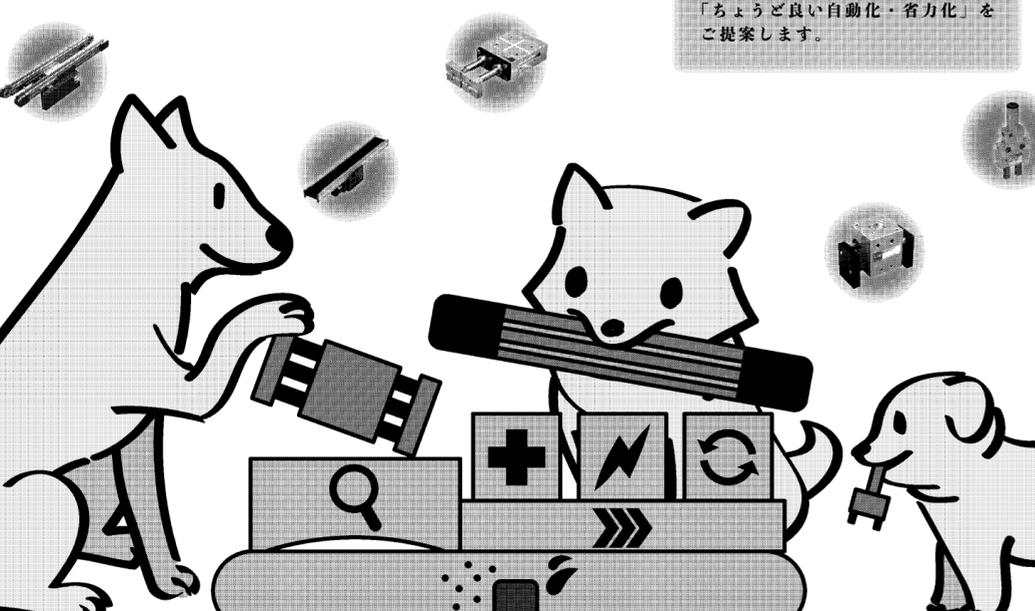
「工作機械や熱交換器を手がけており、今後も楽しみたい。受注や売上高が増えているにもかかわらず、思ったほど利益を伸ばせていないのが全社的な動向だ。インフレやコスト増の影響を受けており、増収減損傾向にある」

造船業再興 追い風

「これまで医工連携を軸に事業展開してきたが、売り上げ拡大に時間がかかる。魅力的なスタートアップが増えているため、出資や共同開発にも力を入れている」

「テキトー」ではなく、「適当」を知っている。

テキトーは、いい加減。適当は、ちょうど良い。犬は、たくさんのおやつを噛みしめ、「ちょうど良い一本」を選びます。NKEも、数ある選択肢から「ちょうど良い自動化・省力化」をご提案します。



NKE株式会社
Humanized Automation

〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町366-1
フリーダイヤル 0120-51-5651

安全に開いて内容物を自動取り出し

「段ボール開梱機」

- 安全性
- 労働力
- 紙粉

ダンボールサイズをAIで自動判別



製品動画



お客様のやりたいをカタチに

バター・チーズ・ショートニング
凍った油脂を安全にカット

「BataSla」

- 安全性
- 設置簡単
- 清潔丸洗い



製品動画

Yasec 山科精器株式会社 077-558-2328
滋賀県栗東市東坂 525



回せ、時代を。 動かせ、世界を。

Kashifuji

Since 1913

最先端の歯車加工技術を京都から

OUR GEARS DRIVE THE WORLD INTO THE FUTURE

環境と人への優しさ
株式会社カシフジ
本社・工場 〒601-8131 京都市南区上鳥羽鶴田町6番地
営業部 TEL(075)661-5271 FAX(075)661-5270
https://www.kashifuji.co.jp



カシフジ社長 榎藤 達郎氏



一品一様で現場力強み

ギア製造に使うホブ盤などは人型ロボットへの関心がどを手にしています。足元の高まり、それ向けの減速機などの増加から小型の歯車の需要が伸び、ホブ盤などの販売も増えています。2025年は新規プロジェクトは少ないと感じている。当社は自動車業界向けが主力だが、ここ数年でEV(電気自動車)化の流れからHV(ハイブリッド)車、優位の流れに切り替わる。ボットの減速機向け歯車などなどで、今後の見通しが難し。減速機などに使う小型歯

臨機応変に対応、多能工化推進

車向けに、当社の強みである、高精度を維持しつつ、従来品よりも小さいワークを対象とした小型の装置を開発した。現在は国内のユーザーに装置を使ってもらっており、ブラッシュアップも順次進める。並行して中国での販売に向け、営業活動も開始した。生産性を向上させるための取り組みは、「当社は一品一様で製造しており、現場力が強み。臨機応変に対応できる能力を付けてもらうため、多能工化を進めている。これが功を奏し、工期短縮にも対応できるようなようになった。現本社工場(京都市南区)は古くなってきており、今後は順番に工場の建て替えが必要だ。設備を組み立てる場所を広げるなどして生産性を高め、生産性も高める環境にしていきたい」

ホリゾン社長 堀 英陽氏



製本の多様な需要に対応

製本業界の多様な需要に、国内総代理店契約も締結し、M&A(合併・買収)を実施。海外企業と代理店契約も締結しました。「印刷・出版・製本市場向けに手を加えることが必要だ。2026年はインクジェット印刷機(前橋市)を完全子会社化し、印刷後加工のソリューション提案やカスタマイズの対応などが強みになる。糸がかり製本システムを手がける米国スマイス」

M&Aでシステム強化

「国内総代理店契約も締結し、M&A(合併・買収)を実施。海外企業と代理店契約も締結しました。印刷・出版・製本市場向けに手を加えることが必要だ。2026年はインクジェット印刷機(前橋市)を完全子会社化し、印刷後加工のソリューション提案やカスタマイズの対応などが強みになる。糸がかり製本システムを手がける米国スマイス」

桶谷は大型機械部品の製造から脱皮し、 製造装置の組立・設置メーカーとして成長してまいります。



中国を中心とした海外調達を積極的に進めています。

高品質 短納期 低価格 を保証

製造設備技術の総合社
株式会社桶谷製作所
本社 〒601-8203 京都市南区久世山町376-7 TEL 075-922-9409
URL: https://www.e-oketani.co.jp/ E-MAIL: oketani@e-oketani.co.jp
関東事業所、東海事業所、九州事業所、大阪事業所、韓国事業所、久世工場、久御山工場、伏見工場、上鳥羽工場

桶谷製作所社長 桶谷 正躬氏



大型部品を一貫加工

製造装置のベアリング、多様なモノづくりができることに加え、顧客は細い企業から大手企業まで、約2500社に広がっている。「事業環境への認識や、今後の目標を教えてください」

100億円企業目指す

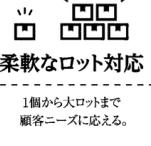
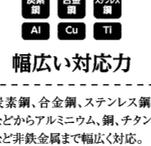
売上高100億円の実現に向けた成長戦略は、「当社はモノづくりは得意だが、仕事を獲得する営業力が弱いため、商社との関係を強化する。また現在は大手メーカーの2次・3次下請けの立場だが、直接の取引もしていきたい。大手メーカーが求める品質やコスト、納期に合わせるよう、当社全体を高度化していく」

2026

京滋の有力企業20 (トウエンティイ)

炎人技 -限らない 未来を拓く-

近江鍛互株式会社は リング鍛造のトップメーカーです 国内最強クラス15000tプレスで 他社には真似できない鍛造品を実現

 外径 φ110mm φ5200mm	 柔軟なロット対応 1個から大ロットまで 顧客ニーズに応える。	 高さ 1600mm	 一貫生産体制 鍛造、熱処理、機械加工、非破壊 検査、材料試験まで一貫対応 で高品質、コスト削減、納期短 縮を実現。	 重量 1kg 25t	 幅広い対応力 炭素鋼、合金鋼、ステンレス鋼 などからアルミニウム、銅、チタン など非鉄金属まで幅広く対応。
---	---	---	--	---	--

近江鍛互株式会社 <https://www.omitanko.co.jp/>
 本社工場 〒520-2152 滋賀県大津市月輪1丁目4-6 TEL 077-545-3281 FAX 077-545-8802
 信楽工場 / 長崎工場 / ロサンゼルス営業所
 グループ会社
 有限会社西原運輸興業 美喜製作株式会社 有限会社本庄鉄工所
 TEL 06-6496-6367 FAX 06-6496-6368 TEL 03-3762-5731 FAX 03-3762-5731

変わらぬ製品に込めた想い.. Since 1918



MIYAKI
ELECTRIC.MFG.CO.,LTD.

常に夢を追ひ続け、新しいモノを世に送り出し続ける技術開発型企業

新製品

株式会社 宮木電機製作所

本社 TEL: 0771-24-7401
〒621-0013 京都府亀岡市大井町並河3-16-18

東部営業所 TEL: 045-507-2270
〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルス・ベイサイド502

名古屋営業所 TEL: 052-241-8525
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須4-9-79 大須TNビル6F-A

西部営業所 TEL: 075-841-5321
〒604-8431 京都府京都市中京区西ノ京原町99

全方位形ネットワークカメラ
NWEX-CM6H

<https://www.miyaki-elec.co.jp/>

NEW Plasma Open Lab

最新のプラズマ技術で試行錯誤できる場を提供します

問い合わせ → 利用申請 → 来社

- 開発スピード向上!
- 購入、レンタル前の実証利用も!

詳しくはこちら

株式会社 魁半導体 [URL https://sakigakes.co.jp](https://sakigakes.co.jp)
 京都府京都市下京区西七条御前田町50番地
 TEL 075-204-9589 FAX 050-3488-5883

近江鍛工社長 坂口 康嗣氏

多様なサイズ・素材の鍛造リングを手がけ、自動車や新幹線、建機、船舶、エネルギーなど、幅広い市場に展開しています。市場環境は、「全体的に冷え込みが続いている。中国の景気低迷で、好調だった大型タンクトラック需要も鈍化。中国経済の冷え込みをきっかけに同国の鉄が海外に流出し、それに引張られて韓国内の競争が激化



グループの連携強化

交流を深めてグループシナジーを創出し、当社の鍛造品の販売拡大にもつなげたい。国内外を問わず、M&A(合併・買収)なども通じた持続的な成長、体制整備は今後も強化していく。政府が掲げる造船業の再生の動きは、まだ見えない部分がある。造船業は自動車産業などと同じく裾野が広く、当社は川上に位置する。サプライチェーン全体の取り組みが重要な一企業成長には人材の育成や確保も重要だ。

「教育にかなり力を入れており、教育費は過去と比べて増えたが、社員成長を日々感じている。外国人を現場だけでなく技術スタッフにも採用した。ただ、あらゆる費用が上がっており、今年は全社員で一度、コスト意識を持って取り組みようとする」

交流深めシナジー創出

宮木電機製作所社長 三橋 伸乃映氏

2026年の見通しは。初め、原材料価格や国際情勢に留意し、デジタル変革(DX)による業務効率化や工場受注残を抱えて始まり、主要パーツの先行手配や倉庫の計画的活用で着実な消化を図った。防弾カメラも好調に推移。売上高は計画値と前年実績を大きく上回った。ただ、物価高騰で利益面は課題を残した。26年11月期は前期より受注残が少なく、厳しい年度



誠実・丁寧なものづくり

品質・信頼で企業価値向上

「改めて認識した当社の強みは、高い技術力と誠実なものづくりへの姿勢にある。一方、事業規模拡大や新規事業創出が継続課題。配電盤受注拡大に向けた工場拡張、新たな防弾製品の開発、ソーラー関連製品に続く新規事業参入を重点施策とし、中長期的な成長を実現する。創業者の言葉「製品は人格の片鱗を示すものなり」を重んじ、誠実に丁寧な顧客目線のものづくりで、品質と信頼を基盤とした企業価値の向上に努める」

魁半導体社長 田口 貢士氏

市場環境は。「さまざまなところで半導体分野向け以外にも、医療体が伸びていると言われたが、それは人工知能(AI)関連で、それ以外は今までも長期の赤字分まで取り戻し、27年7月期に大きく飛躍する」

「スマートフォンの普及やIoTの浸透が、部材の表面改質や親水・撥水化、洗浄などに使うプラズマ装置の需要を押し上げている。半導体分野向け以外にも、医療機器の生産ラインなどでも需要が伸びている。2026年7月期の黒字転換で前連で、それが外はこれまで長期の赤字分まで取り戻し、27年7月期に大きく飛躍する」



プラズマ装置販売伸長

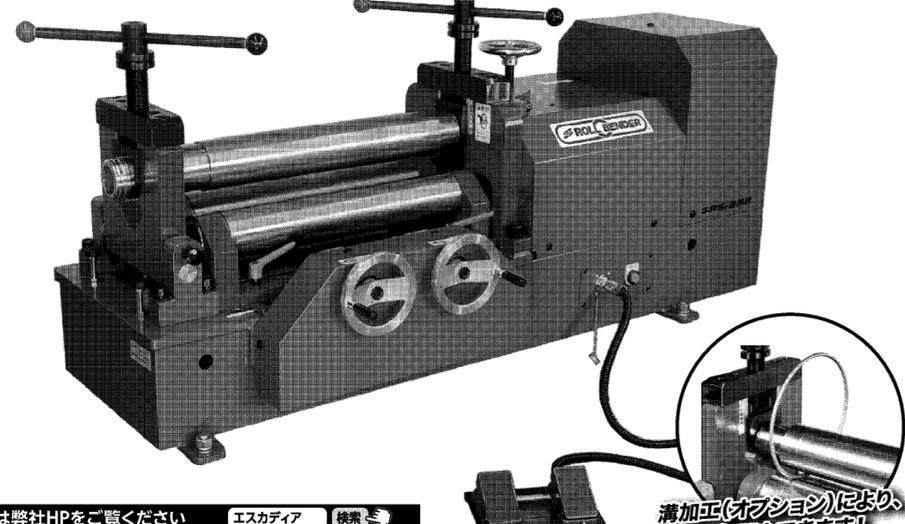
表面処理技術の共同開発

「25年は共同開発で複数の柱をつくっていきたい」

「営業体制の強化に取り組み、一定の成果を得ました。25年は外部にも内部的にもシナジーするための準備期間だった。営業部門で培った新人の垂直立ち上げのノウハウは、増員を考えているプロセス開発や技術開発にも展開していく。海外では、台湾の半導体産業関連会社との販売拡大に向けて複数社と協業し、海外では初めてとなる拠点設置も検討している」

ROLL BENDER 頼りになるロール加工の凄いヤツ!

鉄芯ロール 端曲げタイプ SRS-55II 3本駆動で材料のスリップを防止、SS材 6mm端曲げ対応!!



詳しくは弊社HPをご覧ください **エスカディア** 検索

まるめることにマツグな会社

株式会社 エスカディア
〒520-3306 滋賀県甲賀市甲南町柘子2002番地34 ☎ 0748(86)1666 FAX 0748(86)1661
URL <https://www.scadia.jp>

ROLL BENDER RB事業部
●金属板金用ウレタンロールベンダー
●ロールベンダーPAT. 製造販売
●フレックス本ロール ●フレックス3本ロール ●その他ロール専用機設計製作

溝加工(オプション)により、丸棒の加工もできます!

エスカディア社長 住谷 徳章氏

「金属板を円筒状に加工するロール成形機が主力です。年末に機械設計担当を増員し、『主力製品』ロールベンダーの自動化設備や搬送装置など、売り上げが好調だ。昨年度は、ロール成形機以外の装置は関東、東海、関西、中国にも幅広々対応していく。九州の展示会にも出展し、受注加工事業の状況は、今年も甲信越地方にも出展し、当社が切替から溶接、製する予定で、『ロール成形機』の総合パーツと『中国や東南アジアの協力会社の向上を図る。顧客ごとの要望に合わせた特別仕様機の引



出展拡大で知名度向上

「中小受託取引適正化法の施行など、取り巻く環境の変化に合わせて社内のアプデーターも日々行う必要がある。『客先が繁栄するものづくり』自社の繁栄を目指すべき姿とし、従業員一人ひとりが定められた目標にまい進できるよう会社としてバックアップする。個人の成長は会社の成長であり、会社の成長は従業員の豊かさにつながる。このことを胸に当社は挑戦を続ける」

ティーエムシー社長 宮脇 大士氏

「レアメタルのスクラップをリサイクルし、再び原料に戻して供給しています。『滋賀県に2拠点、富山県に3拠点、リサイクルプランの雇用促進にも貢献できるとトを保有している。大手製造業があり、スクラップの発生や素材も使用する産業が多い。』主力はニッケルだが、リチウム、当社の滋賀のリサイチウムのリサイクルにも力を投入している。リチウムイオン電池(LiB)正極材の原料「エリア内資源循環する。『京滋クロスドループ』が形成



京滋エリアで資源循環形成

「物流負荷低減・雇用促進に貢献」
「時代の成長戦略は、今後の成長戦略は、時代にあたりリサイクルを提供していく。当社は1986年に創業してからリサイクル技術を磨き、2026年は40年目、リチウムのリサイクルに関して、工業的に手がけている企業は国内ではほほないと考えている。独自の力のある事業に力を入れ、今後も成長していきたい」

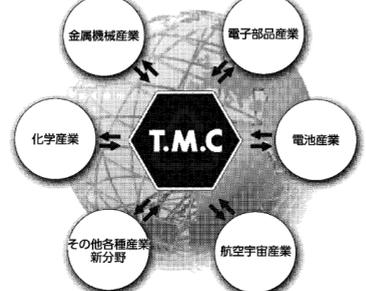
地球延命



T.M.C. TOWN MINING CO., LTD. ティーエムシー 株式会社
URL <http://www.townmining.co.jp/>

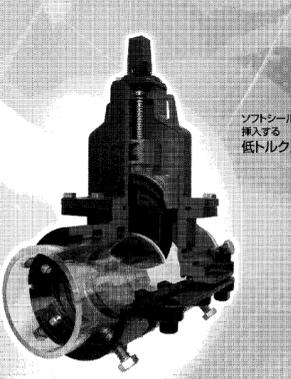
〈営業拠点〉
京都本社 〒604-8153 京都府京都市中京区烏丸通四条上ル芦町691番地 りそな京都ビル10階
Tel:075-253-0444 Fax:075-253-0448

〈業務拠点〉
マザープラント 〒528-0061 滋賀県甲賀市水口町笹が丘1-58 Tel:0748-62-3326 Fax:0748-62-3356
信楽プラント 〒529-1803 滋賀県甲賀市信楽町牧1790番地 Tel:0748-60-7716
高岡プラント 〒933-0073 富山県高岡市萩布142-2 Tel:0766-29-0999 Fax:0766-29-0004
富山プラント 〒939-2223 富山県富山市笹津137-1 Tel:076-481-6133 Fax:076-481-6136
小矢部プラント 〒902-0821 富山県小矢部市鷺島1110番地 Tel:0766-50-9918



2026 京滋の有力企業20 (トウエンティイ)

ライフラインの安全性に貢献する



ソフトシール弁体を挿入する低トルク止水

回転しなから穿孔する溝状穿孔

EM穿孔イメージ

米国でのエスゲート設置状況

台湾でのエスゲート設置状況

EM不断水バルブ工法 PAT.

エスゲート

EM 不断水バルブ工法は、水道管の水を止めずにバルブを設置する工法です。漏水時の修繕や、管路の更新等で使用されています。

株式会社 水研

お問い合わせ、カタログ請求は
本社 〒529-1663 滋賀県蒲生郡日野町北脇206-7 TEL(0748)53-8083
■URL www.suiken.jp ■E-mail otoiawase@suiken.jp

札幌営業所 TEL(011)642-4082 大坂支店 TEL(072)677-3355
東北営業所 TEL(022)306-3166 中国支店 TEL(082)262-6641
東京支店 TEL(03)6914-5480 九州支店 TEL(092)501-3631
名古屋支店 TEL(052)712-5222

水研社長 佐藤 康成氏

「上下水道管路用の継ぎ手製品などを手がけ、現状は断水せずに既設管にバルブを設置できる、EM不断水バルブ工法を用いた「エスゲート」シリーズが主力製品です。エスゲートシリーズは水道管の維持管理や更新などで使用されるため、老朽化対応など、販売は好調だ。今後台湾で2025年に施工し、水運管の更新は増えると考えられている。小さい呼び径の海外販売



水道管のバルブ製品好調

「老朽化対応など需要増に期待」
「今後の成長戦略は、国内は給水人口の減少や節水技術の向上で、公共事業として新設される配管は減っている。このため維持管理で増える需要や、公共事業以外にも販売を広げる狙いで、エスゲートシリーズがさまざまな呼び径に対応できるように製品ラインアップを拡充する。民間向けでは工場などでもエスゲートシリーズの需要があるほか、免震構造ビルでの配管の継ぎ手の需要もある。伸ばす余地はあると考えている」

